

Fusyo Collaboration letter



12月9日 No.28 文責 廣田 秀俊

子どもたちが向かうところを見据えて 外国語セミナーにて

11月30日に外国語セミナーが開催されました。県内外から90名程の方に参加いただき、本校児童の学びの姿を見ていただきました。講師として、関西外国語大学教授 直山木綿子氏にご指導いただきました。直山先生には、大分大学教育学部附属小学校の学校改革の期から関わっていただき、10年近い年月を数えるほどになっております。

これまで積み重ねてきた研究と、本年度の「単元ゴールにつながる必然性のある英語表現の活用」を目指し、日々指導にあたってきました。本年度は大分大学との連携を強化し、大分大学留学生との交流も交え、聞き手、話し手に考慮しながら、児童が主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする姿を追求していきました。



外国語セミナーを開催するにあたり、参加いただいた方と積極的に対話しつつ、目指す方向性を考えるべき、各学校のニーズや国や県の求めに応じたうえでの地域貢献を行うことを使命と鑑み、研究を重ねてきました。セミナー開催時に全学級で外国語活動や外国語科授業を行ったのも、そういった背景によるものです。今回、直山先生ご指導の下、また新たな学びの道筋を示していただきました。



今後中学校への学びの継続のために、小学校がなすべき役割を考慮し、小中の相違点を頭に入れ、中学校へどうつないでいけるかというところを意識して指導していかなければと考えています。



小学校低・中学年の「通じた」「わかった」という喜びから、高学年で表現をしっかりと身に付けていく必要性を子どもたちに伝えていかなければということを改めて考えさせられました。

外国語セミナーに参加した皆さんが「セミナーに来て良かった」「小学校外国語について改めて考えていく機会となった」と思っただけのよう、全教職員で本校の外国語の教育活動について、丁寧に研修を積み重ねてきました。



本校の学校教育目標「グローバルリーダー(Think globally act locally)の育成」に向け、子どもたちが“未来への高い志をもつこと”“人や社会に豊かに関わること”“自己を磨き高め合うこと”を再度ふり返りながら、今後も対話と傾聴を重視した教育を進めてまいります。

外国語セミナー開催にあたり、PTAの皆様のご協力をいただき、スムーズな運営ができましたことを紙面をおかりしてお礼申し上げます。ありがとうございました。